



フォレストワーカー INTERVIEW

株式会社丸山
服部拓巳
Hattori Takumi



2000年、十日町市生まれ
十日町市在住(22歳)
林業経験3年4カ月

**木を伐るって、めっちゃくちゃ楽しい！
特殊伐採のロープワークも面白い！**

——林業の仕事に就いたきっかけは？

十日町市にある「あてま森と水辺の教室ポラ」の「アルプスアドベンチャー」でインストラクターとして働いていました。社長が大自然を楽しみながら森林整備につながる新しい林業として森林で楽しむ空中アスレチックに取り組んでいたんです。インストラクターとして木に登り、自然の中で働くうちに林業に興味を持つようになりました。

——仕事は楽しいですか？

木を伐るって、めっちゃくちゃ楽しいです。狙った通りに木が伐れて、勢いよく「パタン！」と地面に着地したときの快感といったら!! 入社1年目はインストラクターや土木の仕事をやっていた林業の仕事はまだ4年目。今は間伐や主伐、

特殊伐採の仕事をしています。

——特殊伐採は重機が入らない現場で周囲への倒木リスクを避けるため根元から倒さずに木に登って伐採します。高所恐怖症なので最初は木登りも怖



木の上の不安定な体勢でもロープを支えに木を切る。伐採した木は落下させないようにロープで吊る。枝は下に落とす

かったです。登っていくうちに、クライマーズハイじゃないけれど上へ上へと登ることができるようになり、昔ほど怖さを感じなくなりました。

——特殊伐採の面白さ、難しさは？

周囲に住宅や障害物がある現場なので場所にに応じてプランを立てます。伐採後の動線やロープの張り方など完了までの一連の作業全てを自分の責任で行うことができます。ジグゾーパズルを組み立てるような感覚で難しいほど面白く、仕事が終了したときの「やった」っていう達成感がいいです。高い木の上って最高です。楽しいです!!

——今日は特殊伐採の講習会に参加し

ていますが、参加してみたの感想は？

今まで自分がやってきたことを再認識して、より安全に正確に知識を深めることができました。僕はずっとクライミングロープを使って木に登るやり方で特殊伐採をやっていて、ロープワークも面白いです。前にロープワークの講習会に参加したときにツリークライミングの大会の話聞いて、世界大会出場を目指して練習中です。日本選手権もありですが世界の舞台に挑戦してみたいです。

——ロープワークを応用した特殊伐採ほか、カッコいい林業の技術が一般人に知られていないのが残念です。

街中で特殊伐採をやっていると「何あれ?」「すごい」ってギャラリィが賑わってきますね。林業は山の中の作業が多く、理解されにくい仕事ですが人が生きる上で重要な産業だと思います。

——林業の仕事に興味ある方へのアドバイスをお願いします。

僕はこんなに楽しい仕事はないと思っています。木を伐って市場や製材屋さんに出して「いい木だ」と言ってもらえると暑い夏や寒い冬の過酷な作業も救われます。林業には幅広い仕事があるので、まずは木に興味を持って身近にある木や山に目を向けてみるところから考えてもらえたらと思います。



ロープほか、さまざまな道具を装着。高所でも安全・確実なツリークライミング技術を活用した特殊伐採が注目されている

SPECIAL WORKSHOP

高い木を安全に伐倒できる特殊伐採の技術を学ぶ



特殊伐採の学校を主催する藤原祥雄さんの講習会に株式会社丸山と中越よつば森林組合から5名が参加。現場は住居近くの高さ20メートル以上の杉。ロープで吊って上部から伐採を行った。プランニングはチームでアイデアを出し合い、安全意识、コミュニケーション力、段取り力を高めた。



ロープを片付けに移動する服部さん。仕事中的ニコニコ笑顔が印象的